

## 別記様式(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 名	令和6年度 三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議
開 催 日 時	令和7年3月24日 (月) 15時00分開会 16時30分閉会
開 催 場 所	庁舎4階 401会議室
主 宰 者 氏 名	三芳町役場
出 席 者 氏 名	朝倉はるみ委員長・長谷川清行委員・久保務委員・遠山浩一委員 前田謙幸委員・柏倉猛委員・山崎百恵委員
欠 席 者 氏 名	なし
事 務 局 職 員	政策推進室 室長・主幹・主査
議 題	① まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗報告 ② 国の地方創生臨時交付金等を活用した町の取組 ③ その他
会議結果	事務局にて出た意見を整理する。
会議経過	別添のとおり
会議資料	1 次第 2 総合戦略関連 取組事業一覧 3 総合戦略KPI進捗状況 4 地方創生臨時交付金事業一覧
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果

	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 会長及び職務代理の選任 会長に朝倉委員、職務代理に長谷川委員を選任した。</p> <p>5 会長あいさつ</p> <p>6 協議事項 ①まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗報告 事務局にて説明を行った。</p>
委員	デジタル実装の電子申請対象手続数はどのくらいの数が最大あるのか。
事務局	目標としては手続数に対して電子対象を100%としたいと考えている。
委員	<p>目標Ⅱについて 観光客を増やすことは悪いことではないが、少子高齢化する日本においては、観光だけで終わらせるのではなく、その人たちをいかに移住者にするかが大切。三芳町を知っていただき、もっと関係を深めて、住んでもいいなと思ってもらえるような移住政策とも絡めて、目標Ⅱを展開して行ってほしい。</p> <p>また、ふるさと納税の寄附額は増えているのか。</p>
事務局	ふるさと納税制度の改正により、主要な返礼品の提供が終了したことで、ここ数年は寄附額の減少が続いている。来年度からは中間事業者を変更して寄附額8,000万円を目標としている。
委員	町の人が町外にするふるさと納税の額はいくらくらいか。
事務局	約1.2億円となっている。
委員	三芳町でもふるさと納税での収支がマイナスなるというのは驚いた。ふるさと納税については、町外の人との接点になるので、今後もぜひ活用してほしい。
	<p>②地方創生臨時交付金等に関する取組 事務局にて説明を行った。</p>
委員	運送業として交付金は助かった。ただし、日々燃料費が上がっている。働く人にとっては、仕事が終わってから役場に行けるようにしてほしいという意見が出ている。
事務局	現状は、土曜開庁やデジタルによるオンライン申請・コンビニ申請等も対応できるようにしている。

委員	デジタル化も大切だが、高齢化していくことで、できなくなることもある。
事務局	デジタル・アナログ両方で申請等ができるように配慮していくことで考えている。
委員	高齢化するとデジタル機器を使いこなせない。役場ではマイナンバー関係で家に来てくれた。ありがたかった。
委員	資料にマイナンバーカード普及率77.7%とあるが、全国平均はどの程度か。
事務局	全国平均75.7%となっているため、全国平均よりは高い結果となっている。
委員	マイナンバーカードがないと、デジタル化してもその恩恵を受けられないことになる。つまりデジタルに投資しても、利用者が増えない可能性もある。使う側が追い付いて来れるような支援もやってほしい。親がデバイスを使うことで、子どものIT教育にもつながってくると思う。
事務局	複数のフォームがあり、わかりづらいというのもあると感じる。
委員	勉強会だけでなく、いつでも相談できる窓口もあると良い。
委員	銀行でも色々なシステムが増えており、覚えるのも大変。やることが増えてしまっている状況。
委員	人手が足りないということもあり、社内でもデジタル化を進めている。コールセンターも対人からデジタルに移行している。皆さんが快適に利用できるかという状況をつくっていかなければならない。
委員	デジタルが進んでも、アナログでやらなければならないこともある。行政としてデジタル化・アナログ残し、両面から行政サービスの質を維持していただければと思う。
	③その他 無し
	7 閉会